







モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	保健体育 1		
科目基礎情報							
科目番号	0003		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	1			
開設期	通年		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員							
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	書道		
科目基礎情報							
科目番号	0004		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	1			
開設期	通年		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員							
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	美術		
科目基礎情報							
科目番号	0005		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	1			
開設期	通年		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員							
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	音楽		
科目基礎情報							
科目番号	0006		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	1			
開設期	通年		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員							
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	国語総合 1		
科目基礎情報							
科目番号	0011		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	1			
開設期	通年		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員	豊田 尚子						
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	歴史 1		
科目基礎情報							
科目番号	0012		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	1			
開設期	通年		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員							
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	English Expression 1		
科目基礎情報							
科目番号	0015		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	1			
開設期	通年		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員							
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	基礎数学 1		
科目基礎情報							
科目番号	0017		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	1			
開設期	前期		週時間数	4			
教科書/教材							
担当教員							
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	基礎数学 2		
科目基礎情報							
科目番号	0018		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	1			
開設期	後期		週時間数	4			
教科書/教材							
担当教員							
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	基礎数学 3		
科目基礎情報							
科目番号	0019		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	1			
開設期	通年		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員							
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	物理 1		
科目基礎情報							
科目番号	0021	科目区分	一般 / 必修				
授業形態	実験・実習	単位の種別と単位数	履修単位: 2				
開設学科	電子機械工学科	対象学年	1				
開設期	通年	週時間数	2				
教科書/教材							
担当教員							
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	一般基礎教育 1		
科目基礎情報							
科目番号	0022		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	1			
開設期	通年		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員							
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	保健・体育
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	0079	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電子機械工学科	対象学年	2		
開設期	通年	週時間数	2		
教科書/教材	高校現代社会 (実教出版) および自主作成資料				
担当教員					
<b>到達目標</b>					
①現代社会を理解するための基礎的・基本的な知識を身につけることができる。 ②現代社会のさまざまな事象を主体的にとらえ、それらの要因、背景、影響を多面的に考察し、理解を深めることができる。 ③現代社会のさまざまな課題について主体的にとらえ、人としてのよりよい生き方やあり方を考え、より望ましい行動をとることができる。					
<b>ルーブリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1 基礎的な知識	現代社会を理解するための基本的なことから説明できる。	現代社会を理解するための基本的なことから理解を深めることができる。	現代社会を理解するための基本的なことから理解が深められない。		
評価項目2 多面的な考察と理解	現代社会のさまざまな事象について多面的に説明することができる。	現代社会のさまざまな事象を多面的に考察し、理解を深めることができる。	現代社会の今日的な事象について多面的に考察したり、理解を深めたりすることができない。		
評価項目3 主体的な行動	現代社会のさまざまな課題について主体的にとらえ、望ましい行動をとることができる。	現代社会のさまざまな課題について主体的にとらえ、望ましい行動への意識がもてるようになる。	現代社会のさまざまな課題について主体的にとらえることができない。		
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
<b>教育方法等</b>					
概要	現代社会のさまざまな事象を理解するためには、基礎的・基本的なことから身につける必要があります。講義を通じて、これらの基礎的・基本的なことから身につけていきます。また、そのうえで、具体的な現代社会のさまざまな事象について、その原因、背景、影響等をいろいろな角度から考え、考察していきます。そのためには、新聞、テレビなどのニュースを通じて、今おこっている社会のできごとに積極的に目を向ける必要があります。また、講義を通して、現代社会に様々な課題がある状況の中で、人としてどのように考え、どのような行動をとるのかについての手がかりを見つけ、望ましい行動がとれるようになることを目指します。				
授業の進め方・方法	教科書を手がかりにして、現代社会のさまざまなできごとについて把握し、それに関係する基礎的・基本的な内容について理解し、身につけることを基本とします。また、現在進行している社会現象や社会の変化についても、実際の新聞報道などをもとに学んでいきます。				
注意点	現代社会では、常にさまざまな事象が発生し、進行していきます。そのような現代社会を理解するためには、基礎的・基本的なことから確実に身につけることが欠かせません。進んでこれらの基礎的・基本的なことから理解し、身につけるようにしてください。また、常に新聞やテレビなどの報道などに関心を持ち、常に社会事象について、その原因、背景、影響等をいろいろな角度から考え、考察していくことも大切です。そのうえで、現代社会のさまざまな課題について主体的にとらえ、望ましい行動がとれるようになることが一層大切です。				
<b>授業計画</b>					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 現代社会と環境問題	・「現代社会」の学習の目的と意義について理解する。 ・地球環境問題のあらましを把握する。	
		2週	現代社会と環境問題 (1)	・「生態系」とは何かを知るとともに、生態系の保全の重要性について理解する。	
		3週	現代社会と環境問題 (2)	・「生態系」にかかわる課題を学習し、生態系の保全の重要性について考察する。	
		4週	地球環境問題と地球温暖化 (1)	・地球温暖化とは何かを知るとともに、その原因について理解する。	
		5週	地球環境問題と地球温暖化 (2)	・地球温暖化の進行がどのような状況を招くのかを知るとともに、地球温暖化と私たちの生活とのかかわりについて理解する。	
		6週	地球環境問題とオゾン層の破壊	・オゾン層とその破壊の状況について知るとともに、その原因について理解し、国際的な取り組みについて理解する。	
		7週	生態系と野生の生物種の保護	・生態系の保護、野生の生物種にかかわるさまざまな課題と国際的な取り組みについて理解する。	
		8週	前期中間テスト		
	2ndQ	9週	テスト返却・復習 砂漠化の進行	・砂漠化とは何かを知るとともに、砂漠化の状況を把握し、その原因について考察する。	
		10週	地球環境問題と国際的な取り組み (1)	・地球環境問題に関する国際的な取り組みの目的とその取り組み内容について理解する。	
		11週	地球環境問題と国際的な取り組み (2)	・地球環境問題に関するさまざまな国際的な取り組みについての理解を進める。	
		12週	地球環境問題と国際的な取り組み (3)	・地球環境問題に関する様々な課題について知るとともに、その解決のみちすじについて考察する。	
		13週	資源・エネルギー問題 (1)	・現代社会とそれを支える資源やエネルギー問題の現状について理解する。	
		14週	資源・エネルギー問題 (2)	・現代社会とそれを支える資源やエネルギー問題の現状についての理解を深める。	
		15週	前期期末テスト		

		16週	テスト返却・復習 資源・エネルギー問題（3）	・現代社会とそれを支える資源やエネルギー問題の課題について考察する。
後期	3rdQ	1週	生命科学の進歩や技術の開発（1）	・生命科学の進歩や技術の進展の現状について把握する。
		2週	生命科学の進歩や技術の開発（2）	・生命科学の進歩や技術の進展の現状にかかわる課題について理解する。
		3週	先端医療の現状と課題（1）	・先端医療の進歩や技術の進展の現状にかかわる課題について理解する。
		4週	先端医療の現状と課題（2）	・先端医療の進歩や技術の進展の現状にかかわる課題についての理解を進める。
		5週	遺伝子にかかわる技術の進歩（1）	・遺伝子にかかわる技術の進展の現状と課題について理解する。
		6週	遺伝子にかかわる技術の進歩（2）	・遺伝子にかかわる技術の進展の現状と課題についての理解を進める。
		7週	遺伝子にかかわる技術の進歩（3）	・遺伝子にかかわる技術の進展の現状と課題について多面的に考察する。
		8週	後期中間テスト	
	4thQ	9週	テスト返却・復習 高度情報化社会の進展と現状（1）	・高度情報化社会の現状について理解する。
		10週	高度情報化社会の進展と現状（2）	・高度情報化社会の現状についての理解を深める。
		11週	高度情報化社会の現状と課題（3）	・高度情報化社会のさまざまな課題について把握する。
		12週	高度情報化社会の現状と課題（4）	・高度情報化社会の現状とさまざまな課題について考察する。
		13週	高度情報化社会の現状と課題（5）	・高度情報化社会の現状とさまざまな課題について多面的に考察する。
		14週	高度情報化社会の現状と課題（6）	・高度情報化社会の現状とさまざまな課題について多面的に考察する。
		15週	後期期末テスト	
16週		テスト返却・復習 現代社会の課題と私たちの生活	・一年間の学習をふりかえり、現代社会の課題と今後の自分の生き方についての考えを深める。	

#### 評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	国語(2年)		
科目基礎情報							
科目番号	0081		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	2			
開設期	通年		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員							
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	歴史		
科目基礎情報							
科目番号	0083		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	2			
開設期	通年		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員							
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	英語 B		
科目基礎情報							
科目番号	0085	科目区分	一般 / 必修				
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2				
開設学科	電子機械工学科	対象学年	2				
開設期	通年	週時間数	2				
教科書/教材							
担当教員							
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	微分積分A
科目基礎情報					
科目番号	0087		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 3	
開設学科	電子機械工学科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	3	
教科書/教材	矢野, 石原: 基礎の数学 改訂版, 裳華房 / 矢野, 石原: 問題集 基礎の数学, 裳華房				
担当教員					
到達目標					
1. 三角比に関する基本的な問題を解くことができる。 2. 三角関数に関する基本的な問題を解くことができる。					
ループリック					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1		三角比に関する応用的な問題を解くことができる。	三角比に関する基本的な問題を解くことができる。	三角比に関する基本的な問題を解くことができない。	
評価項目2		三角関数に関する応用的な問題を解くことができる。	三角関数に関する基本的な問題を解くことができる。	三角関数に関する基本的な問題を解くことができない。	
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	三角比と三角関数に関する基本事項を学ぶ。				
授業の進め方・方法	授業は主として講義形式で行うが、適宜問題演習の時間をとることがある。				
注意点	基礎数学3は、高等専門学校でこれから学んでいく数学や専門科目の基礎となる科目であり、学習内容をしっかりと身につけることが望まれる。 そのため、授業の復習と、自発的な問題演習に取り組むよう心掛けること。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス	授業の目標や進め方、成績評価の方法について知る。	
		2週	三角比の定義	三角比の定義を理解し、三平方の定理を利用して直角三角形の頂角の三角比の計算ができる。	
		3週	三角比の近似値	三角関数表を用いて鋭角の三角比の近似値を求めることができる。	
		4週	鈍角の三角比	鈍角の三角比を求めることができる。	
		5週	三角比の相互関係	各種の三角比の相互関係について知る。	
		6週	正弦定理	正弦定理を用いた三角形への簡単な応用ができる。	
		7週	余弦定理	余弦定理を用いた三角形への簡単な応用ができる。	
		8週	中間試験		
	2ndQ	9週	試験返却・解答 一般角	一般角の定義を知る。	
		10週	弧度法	角を弧度法で表現することができる。	
		11週	三角関数の定義	三角関数の定義を知る。	
		12週	三角関数と三角比	三角関数が三角比の一般化になっていることを知る。	
		13週	三角関数の値	一般角の三角関数の値を求めることができる。	
		14週	三角関数の基本公式	三角関数の基本公式を知る。	
		15週	前期期末試験解説		
		16週			
後期	3rdQ	1週	三角関数の相互関係	三角関数の相互関係に関する公式を用いて、三角関数の値の計算ができる。	
		2週	三角関数を含む式の計算	三角関数の基本公式を用いて、三角関数を含む式の計算ができる。	
		3週	三角関数の周期性	三角関数の周期性について知る。	
		4週	三角関数のグラフ (1)	三角関数のグラフの基本形をかくことができる。	
		5週	三角関数のグラフ (2)	伸縮と平行移動された三角関数のグラフをかくことができる。	
		6週	三角関数のグラフの応用	三角関数のグラフを利用して、簡単な三角方程式を解くことができる。	
		7週	中間試験		
		8週	試験返却・解答 加法定理	三角関数の加法定理について知る。	
	4thQ	9週	加法定理の応用 (1)	加法定理を用いて三角関数の値の計算ができる。	
		10週	加法定理の応用 (2)	加法定理からいろいろな公式が導出されることを知る。	
		11週	2倍角・半角の公式	2倍角・半角の公式を使うことができる。	
		12週	三角関数の合成	三角関数の合成をすることができる。	
		13週	三角方程式	三角関数を含む基本的な方程式を解くことができる。	
		14週	三角不等式	三角関数を含む基本的な不等式を解くことができる。	
		15週	期末試験		

		16週	試験返却・解答				
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	微分積分B
科目基礎情報					
科目番号	0088		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電子機械工学科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	現代高等保健体育 大修館書店				
担当教員					
到達目標					
<p>1.日常的に自己の体調管理を行い、授業を受けるために必要なコンディションを維持することができる。また、担当教員や仲間と協力し、主体的かつ安全に活動を実行できる。</p> <p>2.体力テスト、陸上競技及びマラソン大会の記録や順位により、自己の体力水準と課題を認識し、体力の維持増進を図れる。また、バレーボール及び陸上競技の基礎的技術を習得し、ルールを理解してゲームや記録測定を実行できる。</p> <p>3.保健で取り上げられた各項目の基礎知識について説明できる。</p>					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	欠席、遅刻、早退および見学がほとんどなく、授業を安全かつ円滑に進める上での問題行動がみられない。	欠席、遅刻、早退および見学が少なく、授業を安全かつ円滑に進める上での問題行動がみられない。	欠席、遅刻、早退および見学が多い。または、授業を安全かつ円滑に進める上での問題行動がみられる。		
評価項目2	体力テスト、陸上競技及びマラソン大会において高いレベルの記録を出すことができる。バレーボール及び陸上競技の基礎的技術を習得でき、ルールを理解できる。	体力テスト、陸上競技及びマラソン大会の記録や順位がやや低くても、改善しようとする姿勢がみられる。バレーボール及び陸上競技の基礎的技術概ね習得でき、ルールを理解できる。	体力テスト、陸上競技及びマラソン大会の記録や順位が著しく低く、改善しようとする姿勢がみられない。または、バレーボール及び陸上競技の基礎的技術がほとんど習得できておらず、ルールも理解できていない。		
評価項目3	「健康について」、「喫煙と飲酒」「医薬品と健康、薬物乱用とドーピング」「心肺蘇生法、日常的な応急手当」「人間と性、性感染症とエイズ」の5項目中4項目以上説明できる。	「健康について」、「喫煙と飲酒」「医薬品と健康、薬物乱用とドーピング」「心肺蘇生法、日常的な応急手当」「人間と性、性感染症とエイズ」の5項目中3項目以上説明できる。	「健康について」、「喫煙と飲酒」「医薬品と健康、薬物乱用とドーピング」「心肺蘇生法、日常的な応急手当」「人間と性、性感染症とエイズ」の5項目中3項目以上説明できない。または、飲酒、喫煙、薬物乱用のいずれかを行なった。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	<p>体育実技と保健の講義を行う。</p> <p>体育実技では、基礎体力の維持増進を図るとともに、各スポーツ競技を楽しむための基礎的技術の習得及びルールの理解を通してゲームや記録測定を行う。</p> <p>保健の講義では、日常生活に関連した項目について学ぶ。</p>				
授業の進め方・方法	<p>体育実技は、主にグラウンドや体育館にて行う。準備運動に続いて、その日の主要課題を行う。</p> <p>保健の講義は、主にクラスルームにて行う。</p>				
注意点	<p>・評価の50%は態度(出席状況及び授業態度)である。日常的に体調管理をしっかり行い、良い身体コンディションで授業に臨むこと。また、真面目に取り組むこと。</p> <p>・授業計画や評価方法は、天候等の事情により変更することがありうる。</p> <p>・実技の授業時には、運動に適した服装・シューズ及び着替えを準備すること。保健の授業時には、教科書を準備すること。</p> <p>・安全面に注意するとともに、体調不良時には、早めに担当教員に申し出ること。</p> <p>・日常的に規則正しい生活を心がけ、健康状態の維持及び体力の維持増進を図っておくこと。また、体育・スポーツ分野及び保健衛生分野に関する時事問題に関心を持ち、それらについて自分なりの考えを持っておくこと。</p>				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業のガイダンスと体力テスト(屋内種目)	自己の体力水準を認識できる。	
		2週	体力テスト(屋外種目)	自己の体力水準を認識できる。	
		3週	バレーボール(パスの練習)	アンダーハンドパス、オーバーハンドパスのコツをつかむ。	
		4週	バレーボール(スパイクとサーブの練習)	スパイクとサーブの打ち方のコツをつかむ。	
		5週	バレーボール(ルールの確認とゲームの実践①)	バレーボールのルールを理解する。	
		6週	バレーボール(ゲームの実践②)	ゲームの中でサーブを確実にコートに入れることができる。	
		7週	バレーボール(ゲームの実践③)	チームメイトと協力してラリーを続けることができる。	
		8週	バレーボール(ゲームの実践④)	ラリー中にスパイクが打てる。	
	2ndQ	9週	バレーボール(ゲームの実践⑤)	ブロックを含めたチームディフェンスができる。	
		10週	バレーボール(ゲームの実践⑥)	ブロックを含めたチームディフェンスから攻撃を組み立てることができる。	
		11週	球技種目選択(2種目)	種目を選択して、仲間と協力しながらゲームができる。	
		12週	球技種目選択(2種目)	種目を選択して、仲間と協力しながらゲームができる。	
		13週	球技種目選択(2種目)	種目を選択して、仲間と協力しながらゲームができる。	
		14週	球技種目選択(2種目)	種目を選択して、仲間と協力しながらゲームができる。	

		15週	前期総括	前期の反省点を確認し、後期に生かすイメージを持てる。
		16週		
後期	3rdQ	1週	陸上競技(短距離走、ハードル走)	クラウチングスタートの注意点を説明できる。
		2週	陸上競技(ハードル走、持久走)	ハードル間を3歩のリズムで走ることができる。
		3週	陸上競技(砲丸投、持久走)	砲丸投の突き出し動作を実行できる。
		4週	陸上競技(砲丸投、持久走)	ペース配分を考えて持久走を実行できる。
		5週	陸上競技(走高跳)	跳躍方法ごとの踏切脚と助走方向の関係を説明できる。
		6週	陸上競技(走高跳)	リズム感のある助走から踏切を実行できる。
		7週	陸上競技(走幅跳)	跳躍角度を意識した踏切を実行できる。
		8週	マラソン大会コース下見	マラソン大会のコースをイメージできる。
	4thQ	9週	陸上競技(走幅跳)	跳躍角度を意識した踏切を実行できる。
		10週	保健(健康について)	健康のとらえ方の変遷について説明できる。
		11週	保健(喫煙と飲酒)	喫煙及び飲酒の人体への影響について説明できる。
		12週	保健(医薬品と健康、薬物乱用とドーピング)	医薬品の正しい使用方法について説明できる。
		13週	保健(日常的な応急手当と心肺蘇生法、AED講習会)	心肺蘇生法の基本的な流れを理解し、AEDを正しく使用できる。
		14週	保健(人間と性、性感染症とエイズ)	エイズの感染経路を理解し、予防法を説明できる。
		15週	総括	次年度の自己の健康及び体力増進をイメージできる。
		16週		

#### 評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	7	0	0	50	0	43	100
基礎的能力	7	0	0	0	0	0	7
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	50	0	43	93

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	代数・幾何
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	0089	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電子機械工学科	対象学年	2		
開設期	通年	週時間数	2		
教科書/教材	書道 I (東京書籍)				
担当教員					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現と鑑賞の幅広い活動から書を愛好する心を育てる。</li> <li>・文化、伝統の理解を深める。</li> <li>・書写能力を育てて自己表現する能力を高める。</li> </ul>					
<b>ルーブリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	作品を仕上げ提出する	作品を仕上げ提出する	清書不提出 用具不足		
評価項目2	授業前の準備が出来ている 積極的に添削に来る。 練習量が多い	授業中の態度に問題はない	練習量の不足		
評価項目3	臨書することで技能を習得し古典 作品の特徴が理解できる 鑑賞して自分の言葉で表現出来る	古典作品の特徴を理解し書けている	添削した作品を捨てる 集中力にかけている		
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
<b>教育方法等</b>					
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「漢字の書」さまざまな書風にふれることで、鑑賞、表現の能力を高め、創作に生かしていく。</li> <li>・「仮名の書」色々な書風にふれ、美しさや表現方法を学び、創作に活かしていく。</li> <li>・「漢字仮名交じりの書」身近な題材や自らの思い、感動を語句にし、実用的表現形式に創作する。</li> </ul>				
授業の進め方・方法	実技で、作品、態度もしっかり取り組んでいるかを見ます。				
注意点	「評価割合」のその他20パーセントについては、持ち物（半紙、墨汁、筆太小、硯、文鎮、下敷き）等の用意がされているかを評価する。				
<b>授業計画</b>					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	書へのいざない (1)	書に親しむ (身近な物から)	
		2週	書へのいざない (2)	用具, 用材について知る (文房四宝)	
			書へのいざない (2)		
		3週	書へのいざない (3)	姿勢, 執筆法を身につける	
		4週	書へのいざない (4)	調和よく書く	
		5週	書へのいざない (5)	書の美しさを知る	
		6週	漢字の書 (1)	古典を学ぶ	
		7週	漢字の書 (1) -2	古典を学ぶ	
	8週	漢字の書 (2)	孔子廟同		
	2ndQ	9週	漢字の書 (3)	九成宮醜泉銘	
		10週	漢字の書 (4)	雁塔聖教序	
		11週	漢字の書 (5)	顔氏家廟碑	
		12週	漢字の書 (6)	牛欄造像記	
		13週	漢字の書 (7)	鄭義下碑	
		14週	行書 (1)	集王聖教序	
		15週	行書 (1) -2	集王聖教序	
16週					
後期	3rdQ	1週	行書 (2)	蘭亭序	
		2週	行書 (3)	風信帖	
		3週	行書 (4)	争坐位文稿	
		4週	隷書 (1)	曹全碑	
		5週	隷書 (2)	木簡	
		6週	篆刻 (1)	印を作ろうNo1	
		7週	篆刻 (2)	印を作ろうNo 2	
		8週	篆刻 (3)	漢字の書の創作	
	4thQ	9週	篆刻 (4)	漢字の書の創作	
		10週	仮名 (1)	基本用筆を学ぶ	
		11週	仮名 (2)	平仮名を書く	
		12週	仮名 (3)	高野切	
		13週	漢字仮名交じり書 (1)	書きたい言葉を古典から調べる	
		14週	漢字仮名交じり書 (2)	書きたい言葉を古典から調べる	
		15週	漢字仮名交じり書 (3)	書きたい言葉を古典から調べる	

		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	80	20	100
基礎的能力	0	0	0	0	80	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	物理		
<b>科目基礎情報</b>							
科目番号	0091		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 3			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	2			
開設期	通年		週時間数	3			
教科書/教材							
担当教員							
<b>到達目標</b>							
<b>ルーブリック</b>							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
<b>学科の到達目標項目との関係</b>							
<b>教育方法等</b>							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
<b>授業計画</b>							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
<b>評価割合</b>							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	化学
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	0092	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電子機械工学科	対象学年	2		
開設期	通年	週時間数	2		
教科書/教材	Vivid English Expression I (第一学習社)、Hello there! English Conversation (東京書籍) 副教材としてそれぞれにワークブックを使用、グランドセンチュリー英和辞典(三省堂)				
担当教員					
<b>到達目標</b>					
Reading	簡単な英語で書かれた比較的短い文章を直読直解できる。				
Listening	英語での指示や質問の内容を理解できる。				
Writing	基本的な構文を理解し、それを用いて簡単な英文を書ける。				
Speaking	決まったフレーズを用いて、自己紹介や簡単な会話ができる。				
<b>ルーブリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	簡単な英語で書かれた比較的短い文章を直読直解し、内容を正確に理解できる。	簡単な英語で書かれた比較的短い文章をほぼ直読直解できる。	簡単な英語で書かれた比較的短い文章であっても直読直解できない。		
評価項目2	英語での指示や質問の内容を正確に理解できる。	英語での指示や質問の概要を理解できる。	英語での指示や質問の内容を理解できない。		
評価項目3	基本的な構文を十分理解し、それを用いて簡単な英文を文法的に正確に書ける。	基本的な構文を理解し、それを用いて簡単な英文を間違いはあるものの書ける。	基本的な構文を理解できないため、それを用いた簡単な英文であっても書けない。		
評価項目4	決まったフレーズを用いて、自己紹介や簡単な会話ができる。	決まったフレーズを用いて、自己紹介や簡単な会話ができる。	決まったフレーズを用いても自己紹介や簡単な会話ができない。		
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
<b>教育方法等</b>					
概要	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の工夫をしながら伝える能力を養う。				
授業の進め方・方法	計2時間の授業で、Vivid English Expression I (第一学習社)を使用し、教室で主に英文法を学ぶ講義形式の授業と、Hello there! English Conversation (東京書籍)を使用し、LL教室で主にリスニングと会話をおこなう授業の二種を進める。 前者の授業は飯島が、後者の授業は鏡が担当する。				
注意点	English Expression 1は文法1単位、LL1単位の通年授業である。 評価については文法50%、LL50%となる。 文法の評価割合は、試験30%、態度5%、ポートフォリオ15%とする。 LLの評価割合は、試験25%、発表5%、態度5%、ポートフォリオ15%とする。 ポートフォリオには、確認テスト、レポートなどが含まれる。				
<b>授業計画</b>					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Get Ready 1 Classroom English 英語の音の特徴 LL--LL教室の説明	Get Ready 2	英語の指示に適切に答えることができる。 リズム、イントネーション、音の脱落、音の変化について理解し聞いたり話したりすることができる。 LL教室の使い方等を理解できる。
		2週	Get Ready 3 日本語と英語で異なる文の構造(語順) Get Ready 4 品詞・句と節 LL--Lesson 1 Nice to Meet You		書こうとする英文に適切な文構造を用いて文を作ることができる。 文中における品詞の働きについて理解し適切に運用することができる。 LL--英語で自己紹介をする、聞き返す、挨拶をすることができる。
		3週	Lesson 1 Hello, Everyone! LL--Lesson 1 Nice to Meet You		英語で自己紹介することができる。 LL--英語で意味を尋ねる・説明することができる。
		4週	Lesson 1 Hello, Everyone! LL--Lesson 2 Hello, Friends!		be動詞や一般動詞の肯定文、否定文を理解し、文を作ることができる。 LL--英語で許可を求める・与える、相手について尋ねる・答えることができる。
		5週	Lesson 2 She Is from Canada LL--Lesson 2 Hello, Friends!		「留学生」の場面を想定してコミュニケーション活動ができる。 LL--英語でリストアップする表現を使用できる。
		6週	Lesson 2 She Is from Canada LL--Listen Up 1		疑問文、命令文の表し方を理解し、文を作ることができる。 LL--既習レッスンの総復習問題を解答できる。
		7週	Lesson 3 My School Life LL--Sakura's Adventure Episode 1		「学校生活」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。 LL--入国審査で使用される表現を知り、応答できる。
		8週	中間試験		
	2ndQ	9週	中間試験の返却と解答 Lesson 3 My School Life LL--Lesson 3 My Favorite Music		SV, SVCの文構造を理解し、文を作ることができる。 LL--英語で意見を言う、リストアップする時の表現を使用できる。
	10週	Lesson 4 We Enjoy Club Activities LL--Lesson 3 My Favorite Music		「クラブ活動」の場面を踏まえてコミュニケーション活動ができる。 LL--英語で意見を言う、リストアップする時の表現を使用できる。	

後期	3rdQ	11週	Lesson 4 We Enjoy Club Activities LL--DVD鑑賞	S V O, S V O Oの文構造を理解し、文を作ることができる。 英語の多様な表現や英語圏の文化に親しむ。
		12週	Lesson 5 My Hobby LL--DVD鑑賞	「趣味・余暇」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。 英語の多様な表現や英語圏の文化に親しむ。 誘う・誘いを断るときの表現を使用できる。
		13週	Lesson 5 My Hobby LL--Lesson 4 What Are You Crazy About?	S V O C, There is (are)の文構造を理解し、文を作ることができる。 LL--英語でリストアップする、興味・関心を伝える、誘う・誘いを断るときの表現を使用できる。
		14週	For Communication 1 LL--Lesson 4 What Are You Crazy About?	「電話」の場面をふまえて「提案・勧誘」の表現を使ってコミュニケーション活動ができる。 LL--英語でリストアップする、興味・関心を伝える、誘う・誘いを断るときの表現を使用できる。
		15週	期末試験	
		16週	期末試験の返却と解答	
	4thQ	1週	Lesson 6 My Trip to Australia LL--Listen Up 2	「旅行」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。 LL--既習レッスンの総復習問題を解答できる。
		2週	Lesson 6 My Trip to Australia LL--Sakura's Adventure Episode 2	現在形・現在進行形、過去形・過去進行形の表現と働きを理解し、文を作ることができる。 LL--買い物時に使用される表現を覚えることができる。
		3週	Lesson 7 Today's Weather Forecast LL--Lesson 5 A Friendly Potluck Dinner	「天候・気候」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。 LL--英語で許可を求める・許可する / 許可しない表現を使用できる。
		4週	Lesson 7 Today's Weather Forecast LL--Lesson 5 A Friendly Potluck Dinner	will, be going to, 現在進行形などの未来を表す表現を理解し、文を作ることができる。 LL--英語で許可を求める・許可する / 許可しない表現を使用できる。
		5週	Lesson 8 Let's Have a Party! LL--Lesson 6 Are You All Right?	「パーティー」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。 LL--英語で同情する、事情を理解する、助言することができる。
		6週	Lesson 8 Let's Have a Party! LL--Lesson 6 Are You All Right?	現在完了形の表現と意味を理解し、文を作ることができる。 LL--英語で同情する、事情を理解する、助言することができる。
		7週	Lesson9 Let's Enjoy Cooking! LL--Listen Up 2	「料理」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。 LL--既習レッスンの総復習問題を解答できる。
		8週	中間試験	
		9週	中間試験の返却と解答 Lesson 9 Let's Enjoy Cooking! LL--Sakura's Adventure Episode 3	助動詞の働きと表す意味を理解し、文を作ることができる。 LL--レストランで使用される表現を覚えることができる。
		10週	Lesson 10 What's the Matter? LL--Lesson 7 Talking about Our Town	「健康・病気」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。 LL--英語で描写する表現を利用できる。
11週	Lesson 10 What's the Matter? LL--Lesson 7 Talking about Our Town	should, 助動詞を用いた依頼・勧誘の表現を理解し、文を作ることができる。 LL--英語で描写する表現を利用できる。		
12週	For Communication 2 LL--英語の歌	「聞き直す・繰り返す」表現を理解し、文を作ることができる。 LL--英語のよく知られたクリスマスソングに親しむ。		
13週	For Communication 2 (2) LL--Lesson 8 Traditional Culture	「道案内」の場面をふまえて「聞き直す・繰り返す」表現を使ってコミュニケーション活動ができる。 LL--英語で予定を尋ねる・答える、習慣を尋ねる、説明するなどの表現を使用できる。		
14週	Lesson 11 A New Ballpark LL--Lesson 8 Traditional Culture	「スポーツ」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。 LL--英語で予定を尋ねる・答える、習慣を尋ねる、説明するなどの表現を使用できる。		
15週	期末試験			
16週	期末試験の返却と解答			

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	55	5	0	10	30	0	100
基礎的能力	55	5	0	10	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0

分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---	---	---

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	生物
科目基礎情報					
科目番号	0093		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電子機械工学科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	現代高等保健体育 大修館書店				
担当教員					
到達目標					
<p>1.日常的に自己の体調管理を行い、授業を受けるために必要なコンディションを維持することができる。また、担当教員や仲間と協力し、主体的かつ安全に活動を実行できる。</p> <p>2.体カテスト及びマラソン大会の記録や順位により、自己の体力水準と課題を認識し、体力の維持増進を図れる。また、バドミントン及びサッカーの基礎的技術を習得し、ルールを理解してゲームを実行できる。</p> <p>3.保健で取り上げられた各項目の基礎知識について説明できる。</p>					
ループリック					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1		欠席、遅刻、早退および見学がほとんどなく、授業を安全かつ円滑に進める上での問題行動がみられない。	欠席、遅刻、早退および見学が少なく、授業を安全かつ円滑に進める上での問題行動がみられない。	欠席、遅刻、早退および見学が多い。または、授業を安全かつ円滑に進める上での問題行動がみられる。	
評価項目2		体カテスト及びマラソン大会において高いレベルの記録を出すことができる。バドミントン及びサッカーの基礎的技術を習得するとともに、ルールを理解できる。	体カテスト及びマラソン大会の記録や順位がやや低くても、改善しようとする姿勢がみられる。バドミントン及びサッカーの基礎的技術概ね習得するとともに、ルールを理解できる。	体カテスト及びマラソン大会の記録や順位が著しく低く、改善しようとする姿勢がみられない。または、バドミントン及びサッカーの基礎的技術がほとんど習得できておらず、ルールも理解できていない。	
評価項目3		「スポーツの技術と戦術」、「効果的な動きのメカニズム」「技能と体力」「体カトレーニング①」「体カトレーニング②」の5項目中4項目以上説明できる。	「スポーツの技術と戦術」、「効果的な動きのメカニズム」「技能と体力」「体カトレーニング①」「体カトレーニング②」の5項目中3項目以上説明できる。	「スポーツの技術と戦術」、「効果的な動きのメカニズム」「技能と体力」「体カトレーニング①」「体カトレーニング②」の5項目中3項目以上説明できない。	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	<p>体育実技と保健の講義を行う。</p> <p>体育実技では、基礎体力の維持増進を図るとともに、各スポーツ競技を楽しむための基礎的技術の習得及びルールの理解を通してゲームや記録測定を行う。</p> <p>保健の講義では、スポーツの技術やトレーニングに関連した項目について学ぶ。</p>				
授業の進め方・方法	<p>体育実技は、主にグラウンドや体育館にて行う。準備運動に続いて、その日の主要課題を行う。</p> <p>保健の講義は、主にクラスルームにて行う。</p>				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の50%は態度(出席状況及び授業態度)である。日常的に体調管理をしっかり行い、良い身体コンディションで授業に臨むこと。また、真面目に取り組むこと。</li> <li>・授業計画や評価方法は、天候等の事情により変更することがありうる。</li> <li>・実技の授業時には、運動に適した服装・シューズ及び着替えを準備すること。保健の授業時には、教科書を準備すること。</li> <li>・安全面に注意するとともに、体調不良時には、早めに担当教員に申し出ること。</li> <li>・日常的に規則正しい生活を心がけ、健康状態の維持及び体力の維持増進を図っておくこと。また、体育・スポーツ分野及び保健衛生分野に関する時事問題に関心を持ち、それらについて自分なりの考えを持っておくこと。</li> </ul>				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	体カテスト(屋外種目)	昨年度の記録を上回る。	
		2週	体カテスト(屋内種目)	昨年度の記録を上回る。	
		3週	バドミントン(グリップ、クリア、ミニゲーム)	正しいグリップで回内・回外動作をできる。	
		4週	バドミントン(クリア、スマッシュ、ミニゲーム)	クリアとスマッシュを打ち分けることができる。	
		5週	バドミントン(ドライブ、ダブルスルール確認)	ドライブでラリーを続けることができる。	
		6週	バドミントン(ダブルスゲーム①)	ダブルスのルールを理解してゲームを実行できる。	
		7週	バドミントン(ダブルスゲーム②)	ダブルスのルールを理解してゲームを実行できる。	
		8週	バドミントン(ダブルスゲーム③)	サーブを確実に相手のサービスコートに打つことができる。	
	2ndQ	9週	バドミントン(ダブルスゲーム④)	サーブレシーブを確実に相手コートに返すことができる。	
		10週	バドミントン(ダブルスゲーム⑤)	サイド・バイ・サイド・フォーメーションを実行できる。	
		11週	バドミントン(ダブルスゲーム⑥)	トップ・アンド・バック・フォーメーションを実行できる。	
		12週	バドミントン(ダブルスゲーム⑦)	ダイアゴナル・フォーメーションを実行できる。	
		13週	バドミントン(ダブルスゲーム⑧)	チームの特徴を生かしたフォーメーションを選択できる。	
		14週	バドミントン(ダブルスゲーム⑨)	チームの特徴を生かしたフォーメーションを選択できる。	
		15週	前期総括	前期の反省点を確認し、後期に生かすイメージを持つ。	
		16週			
後期	3rdQ	1週	サッカー (キックの練習とルールの確認)	インサイドキック、アウトサイドキックでボールを正確に蹴る。 授業におけるサッカーのルールを確認する	

		2週	サッカー（シュートの練習とフォーメーションの確認）	正確にゴールの枠内にシュートができる。 FW, MF, DF、GKのフォーメーションを理解できる。
		3週	サッカー（ゲームの実践①）	パスを繋げることができる。
		4週	サッカー（ゲームの実践②）	オフサイドを理解して攻撃することができる。
		5週	サッカー（ゲームの実践③）	チームのフォーメーションを理解してゲームができる。
		6週	保健（スポーツの技術と戦術）	技術と技能の意味を理解できる。 戦術、作戦、戦略の意味を理解できる。
		7週	サッカー（ゲームの実践④）	チームのフォーメーションを理解してゲームができる。
		8週	保健（効果的な動きのメカニズム）	スポーツにおける動きのメカニズムを理解できる。
		4thQ	9週	サッカー（ゲームの実践⑤）
	10週		保健（技能と体力）	スポーツを効果的に行うために技能と体力の関係を理解できる。
	11週		サッカー（ゲームの実践⑥）	チームのフォーメーションを理解してゲームができる。
	12週		保健（体カトレーニング①）	体カトレーニングの基礎理論、進め方を理解できる。
	13週		サッカー（ゲームの実践⑦）	チームのフォーメーションを理解してゲームができる。
	14週		保健（体カトレーニング②）	筋カトレーニング、持久カトレーニング、調整力・柔軟性トレーニングの内容を理解できる。
	15週		総括	次年度の自己の健康及び体力増進をイメージできる。
	16週			

#### 評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	7	0	0	50	0	43	100
基礎的能力	7	0	0	0	0	0	7
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	50	0	43	93

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	現代社会		
科目基礎情報							
科目番号	0082		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	2			
開設期	通年		週時間数	1			
教科書/教材							
担当教員							
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	保健・体育
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	0079		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電子機械工学科		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	矢野, 石原: 基礎の数学 改訂版, 裳華房 / 矢野, 石原: 問題集 基礎の数学, 裳華房 / 矢野, 石原: 微分積分 改訂版, 裳華房				
担当教員					
<b>到達目標</b>					
1. 分数関数・無理関数・逆関数に関する基本的な問題を解くことができる。 2. 指数と対数に関する基本的な問題を解くことができる。 3. 整関数の微分と積分に関する基本的な問題を解くことができる。 4. 関数の極限に関する基本的な問題を解くことができる。 5. 積・商・合成関数の微分公式を利用した基本的な問題を解くことができる。 6. 三角関数・逆三角関数・対数関数・指数関数の導関数に関する基本的な問題を解くことができる。					
<b>ルーブリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	分数関数・無理関数・逆関数に関する応用的な問題を解くことができる。	分数関数・無理関数・逆関数に関する基本的な問題を解くことができる。	分数関数・無理関数・逆関数に関する基本的な問題を解くことができない。		
評価項目2	指数と対数に関する応用的な問題を解くことができる。	指数と対数に関する基本的な問題を解くことができる。	指数と対数に関する基本的な問題を解くことができない。		
評価項目3	整関数の微分と積分に関する応用的な問題を解くことができる。	整関数の微分と積分に関する基本的な問題を解くことができる。	整関数の微分と積分に関する基本的な問題を解くことができない。		
評価項目4	関数の極限に関する応用的な問題を解くことができる。	関数の極限に関する基本的な問題を解くことができる。	関数の極限に関する基本的な問題を解くことができない。		
評価項目5	積・商・合成関数の微分公式を利用した応用的な問題を解くことができる。	積・商・合成関数の微分公式を利用した基本的な問題を解くことができる。	積・商・合成関数の微分公式を利用した基本的な問題を解くことができない。		
評価項目6	三角関数・逆三角関数・対数関数・指数関数の導関数に関する応用的な問題を解くことができる。	三角関数・逆三角関数・対数関数・指数関数の導関数に関する基本的な問題を解くことができる。	三角関数・逆三角関数・対数関数・指数関数の導関数に関する基本的な問題を解くことができない。		
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
<b>教育方法等</b>					
概要	前期 分数関数・無理関数・指数関数・対数関数等について、それぞれの関数の性質とグラフについて学ぶ。 整関数を題材として、微分・積分の基本事項について学ぶ。 後期 関数の極限の概要とその値の求め方について学ぶ。 三角関数・逆三角関数・指数関数・対数関数の微分について学ぶ。				
授業の進め方・方法	この授業は、同一週に開講される微分積分Aの内容に関する演習を中心として行う。				
注意点	微分積分Bは、高等専門学校でこれから学んでいく数学や専門科目の基礎となる科目であり、学習内容をしっかりと身につけることが望まれる。そのため、授業の復習と、自発的な問題演習に取り組むよう心掛けること。				
<b>授業計画</b>					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス	授業の目標や進め方、成績評価の方法について知る。	
		2週	分数関数	分数関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	
		3週	無理関数	無理関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	
		4週	逆関数	基本的な関数の逆関数を求め、そのグラフをかくことができる。	
		5週	累乗根と指数の拡張	累乗根の意味を理解し、指数法則を拡張し、計算に利用することができる。	
		6週	指数関数	指数関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	
		7週	指数方程式	指数を含む基本的な方程式を解くことができる。	
		8週	前期中間試験対策	前期中間試験の範囲の復習を行う。	
	2ndQ	9週	対数の定義と計算	対数の定義を知り、基本的な計算ができる。	
		10週	対数関数	対数関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	
		11週	対数方程式	対数を含む基本的な方程式を解くことができる。	
		12週	関数の極限と微分係数	関数の極限と微分係数の意味を理解し、整関数についてその値を求めることができる。	
		13週	整関数の微分	導関数の定義を理解し、整関数の微分ができる。	
		14週	整関数の積分	整関数について、不定積分・定積分の計算ができる。	
		15週			
		16週	前期の総復習	前期に扱った内容についての復習を行う。	
後期	3rdQ	1週	関数の極限	いろいろな関数の極限を求めることができる。	
		2週	積の微分公式	積の導関数の公式を使うことができる。	

		3週	商の微分本公式	商の導関数の公式を使うことができる。	
		4週	合成関数の微分公式	合成関数の導関数を求めることができる。	
		5週	三角関数の極限	三角関数に関係した極限を求めることができる。	
		6週	三角関数の微分（1）	基本的な三角関数の導関数を求めることができる。	
		7週	三角関数の微分（2）	積・商・合成関数を利用して、三角関数の導関数を求めることができる。	
		8週	後期中間試験対策	後期中間試験の範囲の復習を行う。	
		4thQ	9週	逆三角関数の定義	逆三角関数の定義を知り、値を求めることができる。
			10週	逆三角関数の微分（1）	基本的な逆三角関数の導関数を求めることができる。
	11週		逆三角関数の微分（2）	積・商・合成関数を利用して、逆三角関数の導関数を求めることができる。	
	12週		自然対数の底	自然対数の底について知り、関係する基本的な計算ができる。	
	13週		指数関数の微分	指数関数の導関数を求めることができる。	
	14週		対数関数の微分	対数関数の導関数を求めることができる。	
	15週				
	16週		後期の総復習	後期に扱った内容についての復習を行う。	

#### 評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	100	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	国語(3年)		
科目基礎情報							
科目番号	0084		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	3			
開設期	通年		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員							
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	現代社会		
科目基礎情報							
科目番号	0085		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	3			
開設期	通年		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員							
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	微分積分A
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	0088		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電子機械工学科		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	現代高等保健体育 大修館書店				
担当教員					
<b>到達目標</b>					
<p>1.日常的に自己の体調管理を行い、授業を受けるために必要なコンディションを維持することができる。また、担当教員や仲間と協力し、主体的かつ安全に活動を実行できる。</p> <p>2.体力テスト、陸上競技及びマラソン大会の記録や順位により、自己の体力水準と課題を認識し、体力の維持増進を図れる。また、バレーボール及び陸上競技の基礎的技術を習得し、ルールを理解してゲームや記録測定を実行できる。</p> <p>3.保健で取り上げられた各項目の基礎知識について説明できる。</p>					
<b>ループリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	欠席、遅刻、早退および見学がほとんどなく、授業を安全かつ円滑に進める上での問題行動がみられない。	欠席、遅刻、早退および見学が少なく、授業を安全かつ円滑に進める上での問題行動がみられない。	欠席、遅刻、早退および見学が多い。または、授業を安全かつ円滑に進める上での問題行動がみられる。		
評価項目2	体力テスト、陸上競技及びマラソン大会において高いレベルの記録を出すことができる。バレーボール及び陸上競技の基礎的技術を習得でき、ルールを理解できる。	体力テスト、陸上競技及びマラソン大会の記録や順位がやや低くても、改善しようとする姿勢がみられる。バレーボール及び陸上競技の基礎的技術概ね習得でき、ルールを理解できる。	体力テスト、陸上競技及びマラソン大会の記録や順位が著しく低く、改善しようとする姿勢がみられない。または、バレーボール及び陸上競技の基礎的技術がほとんど習得できておらず、ルールも理解できていない。		
評価項目3	「健康について」、「喫煙と飲酒」「医薬品と健康、薬物乱用とドーピング」「心肺蘇生法、日常的な応急手当」「人間と性、性感染症とエイズ」の5項目中4項目以上説明できる。	「健康について」、「喫煙と飲酒」「医薬品と健康、薬物乱用とドーピング」「心肺蘇生法、日常的な応急手当」「人間と性、性感染症とエイズ」の5項目中3項目以上説明できる。	「健康について」、「喫煙と飲酒」「医薬品と健康、薬物乱用とドーピング」「心肺蘇生法、日常的な応急手当」「人間と性、性感染症とエイズ」の5項目中3項目以上説明できない。または、飲酒、喫煙、薬物乱用のいずれかを行なった。		
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
<b>教育方法等</b>					
概要	<p>体育実技と保健の講義を行う。</p> <p>体育実技では、基礎体力の維持増進を図るとともに、各スポーツ競技を楽しむための基礎的技術の習得及びルールの理解を通してゲームや記録測定を行う。</p> <p>保健の講義では、日常生活に関連した項目について学ぶ。</p>				
授業の進め方・方法	<p>体育実技は、主にグラウンドや体育館にて行う。準備運動に続いて、その日の主要課題を行う。</p> <p>保健の講義は、主にクラスルームにて行う。</p>				
注意点	<p>・評価の50%は態度(出席状況及び授業態度)である。日常的に体調管理をしっかり行い、良い身体コンディションで授業に臨むこと。また、真面目に取り組むこと。</p> <p>・授業計画や評価方法は、天候等の事情により変更することがありうる。</p> <p>・実技の授業時には、運動に適した服装・シューズ及び着替えを準備すること。保健の授業時には、教科書を準備すること。</p> <p>・安全面に注意するとともに、体調不良時には、早めに担当教員に申し出ること。</p> <p>・日常的に規則正しい生活を心がけ、健康状態の維持及び体力の維持増進を図っておくこと。また、体育・スポーツ分野及び保健衛生分野に関する時事問題に関心を持ち、それらについて自分なりの考えを持っておくこと。</p>				
<b>授業計画</b>					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業のガイダンスと体力テスト(屋内種目)	自己の体力水準を認識できる。	
		2週	体力テスト(屋外種目)	自己の体力水準を認識できる。	
		3週	バレーボール(パスの練習)	アンダーハンドパス、オーバーハンドパスのコツをつかむ。	
		4週	バレーボール(スパイクとサーブの練習)	スパイクとサーブの打ち方のコツをつかむ。	
		5週	バレーボール(ルールの確認とゲームの実践①)	バレーボールのルールを理解する。	
		6週	バレーボール(ゲームの実践②)	ゲームの中でサーブを確実にコートに入れることができる。	
		7週	バレーボール(ゲームの実践③)	チームメイトと協力してラリーを続けることができる。	
		8週	バレーボール(ゲームの実践④)	ラリー中にスパイクが打てる。	
	2ndQ	9週	バレーボール(ゲームの実践⑤)	ブロックを含めたチームディフェンスができる。	
		10週	バレーボール(ゲームの実践⑥)	ブロックを含めたチームディフェンスから攻撃を組み立てることができる。	
		11週	球技種目選択(2種目)	種目を選択して、仲間と協力しながらゲームができる。	
		12週	球技種目選択(2種目)	種目を選択して、仲間と協力しながらゲームができる。	
		13週	球技種目選択(2種目)	種目を選択して、仲間と協力しながらゲームができる。	
		14週	球技種目選択(2種目)	種目を選択して、仲間と協力しながらゲームができる。	

		15週	前期総括	前期の反省点を確認し、後期に生かすイメージを持てる。
		16週		
後期	3rdQ	1週	陸上競技(短距離走、ハードル走)	クラウチングスタートの注意点を説明できる。
		2週	陸上競技(ハードル走、持久走)	ハードル間を3歩のリズムで走ることができる。
		3週	陸上競技(砲丸投、持久走)	砲丸投の突き出し動作を実行できる。
		4週	陸上競技(砲丸投、持久走)	ペース配分を考えて持久走を実行できる。
		5週	陸上競技(走高跳)	跳躍方法ごとの踏切脚と助走方向の関係を説明できる。
		6週	陸上競技(走高跳)	リズム感のある助走から踏切を実行できる。
		7週	陸上競技(走幅跳)	跳躍角度を意識した踏切を実行できる。
		8週	マラソン大会コース下見	マラソン大会のコースをイメージできる。
	4thQ	9週	陸上競技(走幅跳)	跳躍角度を意識した踏切を実行できる。
		10週	保健(健康について)	健康のとらえ方の変遷について説明できる。
		11週	保健(喫煙と飲酒)	喫煙及び飲酒の人体への影響について説明できる。
		12週	保健(医薬品と健康、薬物乱用とドーピング)	医薬品の正しい使用方法について説明できる。
		13週	保健(日常的な応急手当と心肺蘇生法、AED講習会)	心肺蘇生法の基本的な流れを理解し、AEDを正しく使用できる。
		14週	保健(人間と性、性感染症とエイズ)	エイズの感染経路を理解し、予防法を説明できる。
15週		総括	次年度の自己の健康及び体力増進をイメージできる。	
16週				

#### 評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	7	0	0	50	0	43	100
基礎的能力	7	0	0	0	0	0	7
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	50	0	43	93

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	化学
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	0092		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電子機械工学科		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	特に使用しない。常用漢字クリア、国語要覧、随時プリント配布				
担当教員					
<b>到達目標</b>					
1. 常用漢字、同音異義語、対義語、類義語、慣用句等の語彙力を高める。 2. 論理的な文章を読み、論の展開や論旨を読み解く。 3. 文学作品を鑑賞し、人物・情景・心情等の描写を読み味わう。 4. 古典文学（古文及び漢文）を鑑賞し、時代背景など基礎的知識を習得する。 5. 新聞記事やコラムを読んで、「いま」を考える。					
<b>ルーブリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	到達目標の各分野（常用漢字、論理的文章、文学作品、古典文学、新聞記事等）に真剣に取り組み、学習効果をあげることができる。	到達目標の各分野（常用漢字、論理的文章、文学作品、古典文学、新聞記事等）に真面目に取り組むことができる。	到達目標の各分野（常用漢字、文学作品、古典文学、新聞記事等）に真面目に取り組むことができない。		
評価項目2	定期試験や小テスト等でしっかりと努力の成果を出すことができる。	定期試験や小テスト等で努力の跡を出すことができる。	定期試験や小テスト等で頑張りや努力ができない。		
評価項目3	提出物をきちんと仕上げ期限内に提出することができる。	提出物を期限内に提出することができる。	提出物を期限内に提出することができない。		
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
<b>教育方法等</b>					
概要	高等専門学校といえども、3年次までは高等学校の分野を併せ持つ意味から、国語の総合的分野を学習していくことが大切である。 従って、漢字学習をはじめ、現代文のみならず、古文や漢文についても、基礎的な学習を展開していく。また、日本の将来を担う優れた人間に成長するためには、常に「いま」を考えることが大切である。そういう観点から、様々な視点で考え、視野を広げるために、新聞記事等も教材として扱っていく。				
授業の進め方・方法	①毎回の授業時に、漢字テキスト（『常用漢字クリア』）からプリント形式で漢字学習をする。その際、漢字検定やSPI形式を念頭に置きながら、対義語、類義語、同音異字、慣用句等、語彙の幅を広げていくような学習を展開していく。 ②90分の授業を前半45分と後半45分に二分化し、前半は漢字学習を、後半は各ジャンルの教材を学習していく。 ③前半の漢字学習は語彙力をつけるための学習法を展開し、生き生きとした、活動的な学習の場を目指す。 ④後半の各ジャンルの教材および新聞記事等については、プリントによる投げ込み形式であるが、授業計画に即し、ジャンルに応じた学習を目指す。				
注意点	①授業中は学習に集中して取り組むこと。日々の授業態度が、評価割合の「態度」として位置づけてある。 ②与えられた課題は提出期限を厳守する。提出物については、評価割合の「ポートフォリオ」賭して位置づけてある。 ③毎回、前回の漢字学習の習熟度を小テストで確認する。その小テストについては、評価割合の「その他」として位置づけてある。 ④前年度までに履修した国語の基礎知識を習得しているものとして学習を継続していく。従って、漢字テキストについては、原則的に前年度学習範囲を引き継ぐ形で進めていく。				
<b>授業計画</b>					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンスと漢字学習	年間学習のしかたやテキストの使い方、小テストなどの取り組み方、提出物のあり方等を理解できる	
		2週	漢字学習と評論①	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は論旨の展開を把握することができる	
		3週	漢字学習と評論②	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は論旨の展開を把握することができる前半は	
		4週	漢字学習と評論③	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は論旨の展開を把握し、自分の考えや意見をまとめることができる	
		5週	漢字学習と評論④	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は論旨の展開を把握し、自分の考えや意見をまとめることができる	
		6週	漢字学習と新聞記事①	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半はタイムリーなテーマや身近な題材を通して、自己表現力を高めることができる	
		7週	漢字学習と新聞記事②	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半はタイムリーなテーマや身近な題材を通して、自己表現力を高めることができる	
		8週	前期中間試験	これまでの学習内容を理解し、試験問題に適切な回答ができる	
	2ndQ	9週	試験の解答解説と漢字学習	前半は試験の見直しを通して、答えとその正しい導き方を確認することができる、後半SPIを意識した漢字学習に取り組むことができる	

		10週	漢字学習と古文①	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は説話文学のおもしろさを通して、古文に関心をもつことができる
		11週	漢字学習と古文②	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は古典文学のおもしろさを通して、古文に関心をもつことができる
		12週	漢字学習と古文③	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は古典文学のおもしろさを通して、古文に関心をもつことができる
		13週	漢字学習と古文④	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は古典文学のおもしろさを通して、古文に関心をもつことができる
		14週	漢字学習と新聞記事③	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半はタイムリーなテーマや身近な題材を通して、自己表現力を高めることができる
		15週	前期期末試験	
		16週	試験の解答解説と漢字学習	前半は試験の見直しを通して、答えとその正しい導き方を確認することができる、後半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができる。
後期	3rdQ	1週	漢字学習と小説①	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は小説に登場人物の心情を把握することができる。
		2週	漢字学習と小説②	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は小説に登場人物の心情を把握することができる。
		3週	漢字学習と小説③	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は小説に登場人物の心情を把握することができる。
		4週	漢字学習と小説④	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は登場人物の心情を把握するとともに、作品の時代背景や作者の文学史的な位置づけを理解できる。
		5週	漢字学習と小説⑤	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は登場人物の心情を把握するとともに、作品の時代背景や作者の文学史的な位置づけを理解できる。
		6週	漢字学習と新聞記事④	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半はタイムリーなテーマや身近な題材を通して、自己表現力を高めることができる。
		7週	漢字学習と新聞記事⑤	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半はタイムリーなテーマや身近な題材を通して、自己表現力を高めることができる。
		8週	後期中間試験	これまでの学習内容を理解し、試験問題に適切な解答ができる。
	4thQ	9週	試験の解答解説と漢字学習	前半は試験の見直しを通して、答えとその正しい導き方を確認することができる、後半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができる。
		10週	漢字学習と漢文①	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は漢文学習の基本的な知識を身につけることができる。
		11週	漢字学習と漢文②	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は漢文学習の基本的な知識を身につけることができる。
		12週	漢字学習と漢文③	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は漢文を通して、自分の生活に密着した故事成語が多くあることを理解する。
		13週	漢字学習と漢文④	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は漢文を通して、自分の生活に密着した故事成語が多くあることを理解する。
		14週	漢字学習と新聞記事⑥	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半はタイムリーなテーマや身近な題材を通して、自己表現力を高めることができる。
		15週	後期期末試験	
		16週	試験の解答解説・年間授業の総括	試験の見直しを通して、答えとその正しい導き方を確認し、年間学習の振り返りを行うことができる。

### 評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	10	10	20	100
基礎的能力	60	0	0	10	10	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	保健・体育		
科目基礎情報							
科目番号	0077		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	4			
開設期	通年		週時間数	0.5			
教科書/教材							
担当教員							
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	哲学
科目基礎情報					
科目番号	0083		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電子機械工学科		対象学年	4	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	矢野, 石原: 基礎の数学 改訂版, 裳華房 / 矢野, 石原: 問題集 基礎の数学, 裳華房 / 矢野, 石原: 微分積分 改訂版, 裳華房				
担当教員					
到達目標					
1. 分数関数・無理関数・逆関数に関する基本的な問題を解くことができる。 2. 指数と対数に関する基本的な問題を解くことができる。 3. 整関数の微分と積分に関する基本的な問題を解くことができる。 4. 関数の極限に関する基本的な問題を解くことができる。 5. 積・商・合成関数の微分公式を利用した基本的な問題を解くことができる。 6. 三角関数・逆三角関数・対数関数・指数関数の導関数に関する基本的な問題を解くことができる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	分数関数・無理関数・逆関数に関する応用的な問題を解くことができる。		分数関数・無理関数・逆関数に関する基本的な問題を解くことができる。		分数関数・無理関数・逆関数に関する基本的な問題を解くことができない。
評価項目2	指数と対数に関する応用的な問題を解くことができる。		指数と対数に関する基本的な問題を解くことができる。		指数と対数に関する基本的な問題を解くことができない。
評価項目3	整関数の微分と積分に関する応用的な問題を解くことができる。		整関数の微分と積分に関する基本的な問題を解くことができる。		整関数の微分と積分に関する基本的な問題を解くことができない。
評価項目4	関数の極限に関する応用的な問題を解くことができる。		関数の極限に関する基本的な問題を解くことができる。		関数の極限に関する基本的な問題を解くことができない。
評価項目5	積・商・合成関数の微分公式を利用した応用的な問題を解くことができる。		積・商・合成関数の微分公式を利用した基本的な問題を解くことができる。		積・商・合成関数の微分公式を利用した基本的な問題を解くことができない。
評価項目6	三角関数・逆三角関数・対数関数・指数関数の導関数に関する応用的な問題を解くことができる。		三角関数・逆三角関数・対数関数・指数関数の導関数に関する基本的な問題を解くことができる。		三角関数・逆三角関数・対数関数・指数関数の導関数に関する基本的な問題を解くことができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	前期 分数関数・無理関数・指数関数・対数関数等について、それぞれの関数の性質とグラフについて学ぶ。 整関数を題材として、微分・積分の基本事項について学ぶ。 後期 関数の極限の概要とその値の求め方について学ぶ。 三角関数・逆三角関数・指数関数・対数関数の微分について学ぶ。				
授業の進め方・方法	この授業は、同一週に開講される微分積分Aの内容に関する演習を中心として行う。				
注意点	微分積分Bは、高等専門学校でこれから学んでいく数学や専門科目の基礎となる科目であり、学習内容をしっかりと身につけることが望まれる。そのため、授業の復習と、自発的な問題演習に取り組むよう心掛けること。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス	授業の目標や進め方、成績評価の方法について知る。	
		2週	分数関数	分数関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	
		3週	無理関数	無理関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	
		4週	逆関数	基本的な関数の逆関数を求め、そのグラフをかくことができる。	
		5週	累乗根と指数の拡張	累乗根の意味を理解し、指数法則を拡張し、計算に利用することができる。	
		6週	指数関数	指数関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	
		7週	指数方程式	指数を含む基本的な方程式を解くことができる。	
		8週	前期中間試験対策	前期中間試験の範囲の復習を行う。	
	2ndQ	9週	対数の定義と計算	対数の定義を知り、基本的な計算ができる。	
		10週	対数関数	対数関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	
		11週	対数方程式	対数を含む基本的な方程式を解くことができる。	
		12週	関数の極限と微分係数	関数の極限と微分係数の意味を理解し、整関数についてその値を求めることができる。	
		13週	整関数の微分	導関数の定義を理解し、整関数の微分ができる。	
		14週	整関数の積分	整関数について、不定積分・定積分の計算ができる。	
		15週			
		16週	前期の総復習	前期に扱った内容についての復習を行う。	
後期	3rdQ	1週	関数の極限	いろいろな関数の極限を求めることができる。	
		2週	積の微分公式	積の導関数の公式を使うことができる。	

		3週	商の微分本公式	商の導関数の公式を使うことができる。	
		4週	合成関数の微分公式	合成関数の導関数を求めることができる。	
		5週	三角関数の極限	三角関数に関係した極限を求めることができる。	
		6週	三角関数の微分（1）	基本的な三角関数の導関数を求めることができる。	
		7週	三角関数の微分（2）	積・商・合成関数を利用して、三角関数の導関数を求めることができる。	
		8週	後期中間試験対策	後期中間試験の範囲の復習を行う。	
		4thQ	9週	逆三角関数の定義	逆三角関数の定義を知り、値を求めることができる。
			10週	逆三角関数の微分（1）	基本的な逆三角関数の導関数を求めることができる。
	11週		逆三角関数の微分（2）	積・商・合成関数を利用して、逆三角関数の導関数を求めることができる。	
	12週		自然対数の底	自然対数の底について知り、関係する基本的な計算ができる。	
	13週		指数関数の微分	指数関数の導関数を求めることができる。	
	14週		対数関数の微分	対数関数の導関数を求めることができる。	
	15週				
	16週		後期の総復習	後期に扱った内容についての復習を行う。	

#### 評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	100	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	法学
科目基礎情報					
科目番号	0084		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	電子機械工学科		対象学年	4	
開設期	前期		週時間数	1	
教科書/教材	矢野, 石原: 基礎の数学 改訂版, 裳華房 / 矢野, 石原: 問題集 基礎の数学, 裳華房				
担当教員					
到達目標					
1. 平面図形と式に関する基本的な問題を解くことができる。 2. 数列に関する基本的な問題を解くことができる。 3. 場合の数に関する基本的な問題を解くことができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	平面図形と式に関する応用的な問題を解くことができる。		平面図形と式に関する基本的な問題を解くことができる。		平面図形と式に関する基本的な問題を解くことができない。
評価項目2	数列に関する応用的な問題を解くことができる。		数列に関する基本的な問題を解くことができる。		数列に関する基本的な問題を解くことができない。
評価項目3	場合の数に関する応用的な問題を解くことができる。		場合の数に関する基本的な問題を解くことができる。		場合の数に関する基本的な問題を解くことができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	平面図形と式、数列、場合の数に関する基本的な事項を学ぶ。				
授業の進め方・方法	授業は主として講義形式で行うが、適宜問題演習の時間をとることがある。				
注意点	代数幾何は、高等専門学校でこれから学んでいく数学や専門科目の基礎となる科目であり、学習内容をしっかりと身につけることが望まれる。そのため、授業の復習と、自発的な問題演習に取り組むよう心掛けること。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス	授業の目標や進め方、成績評価の方法について知る。	
		2週	2点間の距離	2点間の距離を求めることができる。	
		3週	内分点と外分点	内分点と外分点の座標を求めることができる。	
		4週	直線の方程式 (1)	通る点と傾きから直線の方程式を求めることができる。	
		5週	直線の方程式 (2)	2点を通る直線の方程式を求めることができる。	
		6週	2つの直線の平行と垂直	2つの直線の平行・垂直関係を傾きの関係として理解できる。	
		7週	平行・垂直な直線の方程式	平行な直線や垂直な直線の方程式を求めることができる。	
		8週	中間試験		
	2ndQ	9週	試験返却・解答 円の方程式	基本的な円の方程式を求めることができる。	
		10週	中心と半径	円の方程式から中心の座標と半径を求めることができる。	
		11週	円と直線 (1)	円と直線の位置関係と連立方程式の解との関係について知る。	
		12週	円と直線 (2)	与えられた方程式から円と直線の位置関係が判定できる。	
		13週	円の接線 (1)	円の接線の方程式を求めることができる。	
		14週	円の接線 (2)	円の接線に関する基本的な問題を解くことができる。	
		15週	期末試験		
		16週	試験返却・解答		
後期	3rdQ	1週	等差数列 (1)	等差数列の一般項やその和を求めることができる。	
		2週	等差数列 (2)	等差数列に関係する応用的な問題を解くことができる。	
		3週	等比数列	等比数列の一般項やその和を求めることができる。	
		4週	総和記号 (1)	総和記号 $\Sigma$ を用いて数列の和を表現することができる。	
		5週	総和記号 (2)	総和記号 $\Sigma$ を用いた基本的な数列の和を計算することができる。	
		6週	階差数列	階差数列と元の数列との関係を知る。	
		7週	漸化式	漸化式の意味を知る。	
		8週	中間試験		
	4thQ	9週	試験返却・解答 積の法則と和の法則	場合の数の計算における積の法則と和の法則の違いを理解する。	
		10週	順列と組合せ	順列と組合せの違いを理解してする。	
		11週	順列の計算	順列に関する基本的な計算ができる。	
		12週	組合せの計算	組合せに関する基本的な計算ができる。	

	13週	二項定理	二項定理の意味を知る。
	14週	二項定理の計算	二項定理を用いた基本的な問題が解ける。
	15週	期末試験	
	16週	試験返却・解答	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	経済学		
科目基礎情報							
科目番号	0085		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	4			
開設期	後期		週時間数	1			
教科書/教材							
担当教員							
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	応用数学 I		
科目基礎情報							
科目番号	0089		科目区分	専門 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	4			
開設期	通年		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員							
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	保健・体育		
科目基礎情報							
科目番号	1237		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	5			
開設期	通年		週時間数	0.5			
教科書/教材							
担当教員							
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	応用物理Ⅱ		
科目基礎情報							
科目番号	1253		科目区分	専門 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	5			
開設期	通年		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員							
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0